

SIL 2024

Day 0
10/7,9

Day 1
10/22

Day 2
11/7

Day 3
12/2

ワークショップ成果発表 高野ユニット

ユニットリーダー



高野 雅典

株式会社サイバーエージェント
学際的情報科学センター
リサーチャー

プログラム方針：創出型



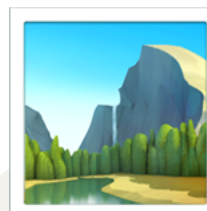
探求テーマ

生きづらさを感じている人たちに対してメタバーズはどのような価値を提供できるだろうか



問い

- ・生きづらさを感じている人たちのニーズや、支援団体に必要なアクションは何か
- ・アバターをどのように活用すると社会課題の解決の糸口となり得るか
- ・メタバーズ上のどのようなコミュニケーション・働きかけが有効なのか



設定に至った背景

様々な研究によって生きづらさに関わる課題やその要因についてわかってきた。一方でその先の具体的な課題への踏み込みは難しい。NPOやその他、知見が深い方たちと一緒に考えたいと思い参加。現在、臨床心理学者や社会心理学者と連携して研究を行っているが、貧困、いじめ、性的マイノリティなど、課題に直接取り組んでいる方々・当事者（NPOなど）と連携して、メタバーズ上でのアクションに対する知見を創出したい。

高野ユニットメンバー

生きづらさを
抱える人の支援者



遠藤まめた

一般社団法人にじず

トランスジェンダー当事者としての自らの体験をきっかけにLGBTの子ども・若者支援に関わる

バーチャル空間で
7000時間以上過ごす人



水瀬ゆず/岡村謙一

株式会社ゆずプラス

世界初のVRメタバースを活用した不登校支援プログラム主宰

VRと自己の関係性
の研究者



畑田裕二

東京大学大学院情報学環

アバター体験を通じた物語的自己の変容に関する文化人類学的調査を行う

OriHimeパイロット
としてアバターで活躍



東川結

公認OriHimeパイロット

OriHimeパイロット。人とのコミュニケーションや絵を描くことが好きで、国内外で個展をひらきたい

サイエンス
コミュニケーター



岩澤大地

日本科学未来館

サイエンスコミュニケーターとして「ハロー！ ロボット」や「セカイは微生物に満ちている」などの展示に携わる

ソフトからハードまで
オールラウンドなエンジニア



土屋 慧太郎

株式会社ロフトワーク

ハードウェアを用いた研究プロジェクトや展示制作やWebでディレクションなど、ラピッドプロトタイピングのスキルを活かし多岐にわたる場面で活動

ファシリテーター
小原和也 (弁慶)
株式会社ロフトワーク



解決したい課題とアプローチ

「生きづらさ」という課題

「生きづらさ」や「生きづらい」状態は、これまでもこれからも(何もしなくても、勝手に)無くなることはない。

● 要因の例

● 交流関係の課題

(孤独、いじめ、社交不安、etc.)

● 社会のスティグマ

(LGBTQ+、性犯罪被害、etc.)

● 地理的制約

(地方格差、etc.)

→ これらの要因により、課題の認知
相談・アクション・コミュニケーション
する環境が希薄になりがち

● 方針

- 「メタバース」というツールを使って「メタバース社会」という場所で、**安心できる居場所を提供する。**
- その場所で、課題解決に向けたアクションの実施/促進を目指す。メタバースという場所を快適なコミュニケーションの場所に。

● アプローチ：AIエージェント

- 何気ないコミュニケーションによるユーザー間、ユーザとエージェント間の社会関係の構築を支援
- 課題がありそうなユーザーをエージェントが感知し、課題解決を支援

つくりたい2040の未来

現実と自己の課題を受け入れる「未来型！生きづらさ解消メタバース」 ver.2040

メタバースに

現実のしがらみを避ける居場所として
課題を支援するAIエージェントがいる

何気ないコミュニケーションによるユーザ間や、ユーザとエージェント間の社会関係の構築。

メタバースで

アバターコミュニケーションの一般化

2040年には、スマホやSNS等と同様にメタバース上でのアバターコミュニケーションを多くの人が利用する(できる)ようになる。

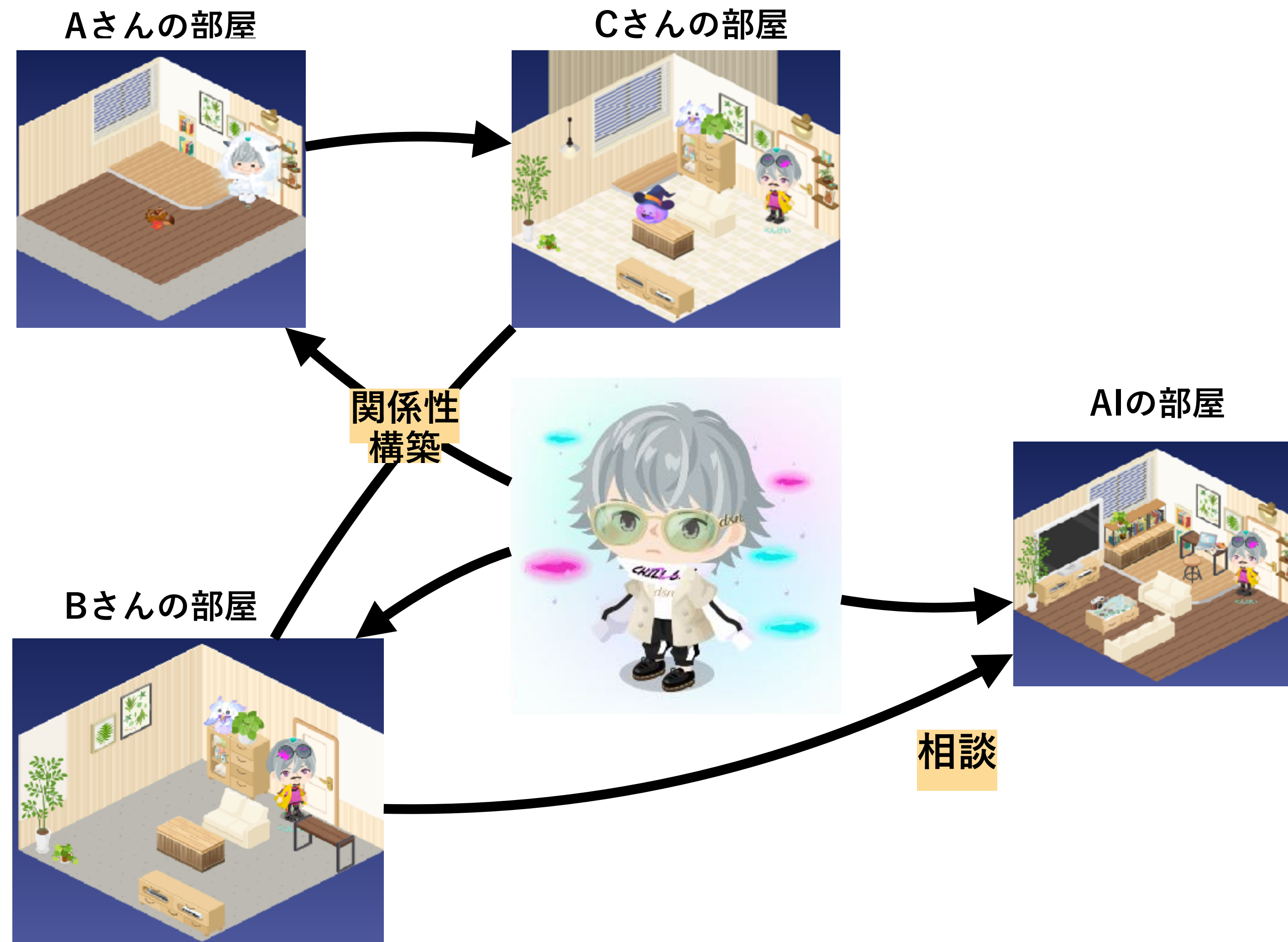
メタバース (AI) が

“心の通じた友人”のように対峙

絶妙な距離感で積極的に介入するコミュニケーションで、支援・窓口へ繋いだり解決する方法やアクションを促す存在と巡りあえる(AI/リアル不問)

話し合いとするの場になったり、職場や家族などの現実の関係性を整えることにも応用できる

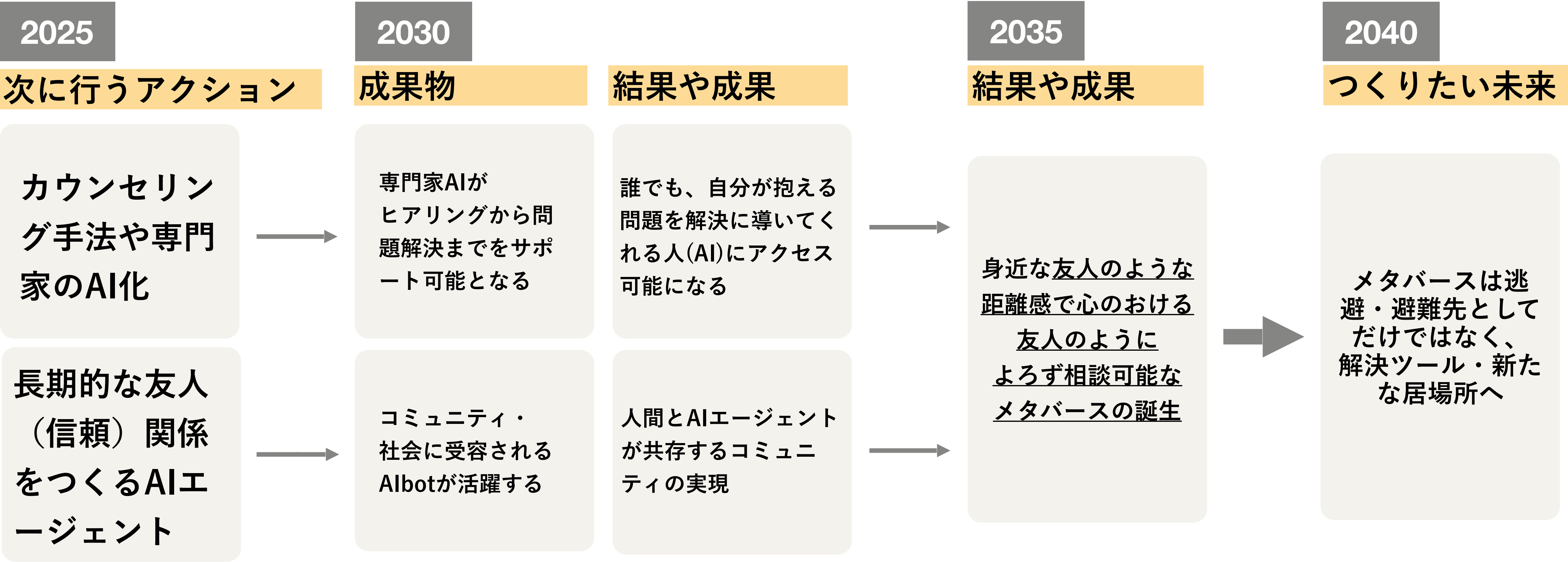
AIエージェントが適切なメタバース空間に移動



課題を解決するための社会実装プラン

心の近い友人のように現実の問題を解決する「未来型！生きづらさ解消メタバース」社会

当事者・専門家と共同で、知識やフレームワークを被属人化することによって多様な課題解決手法をAI化・一般化



プロトタイプ

未来型!生きづらさ解消メタバース ピグパver2040

ピグパーティー演劇を通した、会話設計とパイロットスタディ

SIL 2024



高野ユニット
高野 雅典
遠藤まめた
畑田裕二
岩澤大地
水瀬ゆず(岡村謙一)
東川結
土屋 慧太郎
小原和也(弁慶)

▼出演(ピグ)
遠藤まめた
にじずスタッフ まさよ
にじずスタッフ なぎ

▼企画協力
ユニットメンバー
にじず

JST 科学技術振興機構

RISTEX 社会技術研究開発センター

loftwork

FabCafe what do you fab?

MTRL MATERIAL DRIVEN INNOVATION

プロトタイプ紹介動画はこちら：https://youtu.be/Jrwy_4aG4CQ

ネクストアクション

2030年のアウトプットに向けて以下を実施します

- 次世代ピグパーティ
 - カウンセリング手法や専門家のAI化を検討します（例：AIまめたさん）
 - AIにjeez相談エージェント
 - 長期的な友人（信頼）関係をつくるAIエージェントの検討をします
 - いつメン（いつものメンツ）AIエージェント

